

近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。

